

経営比較分析表（令和3年度決算）

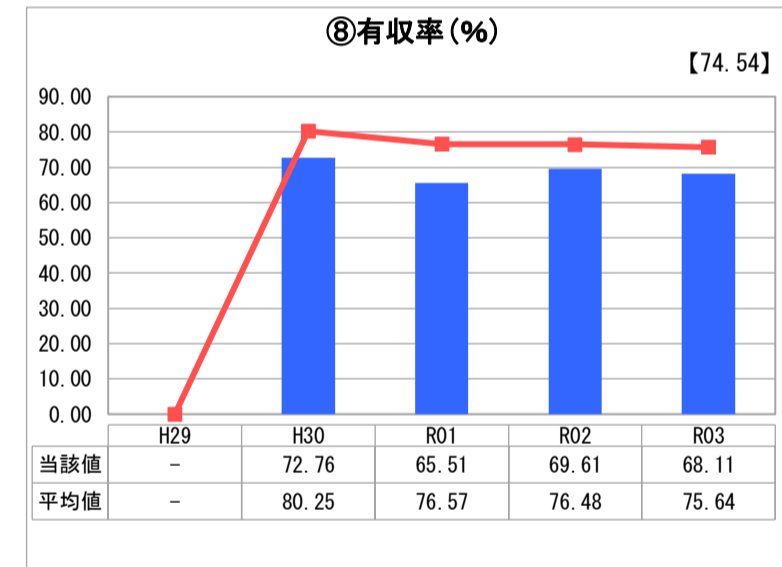
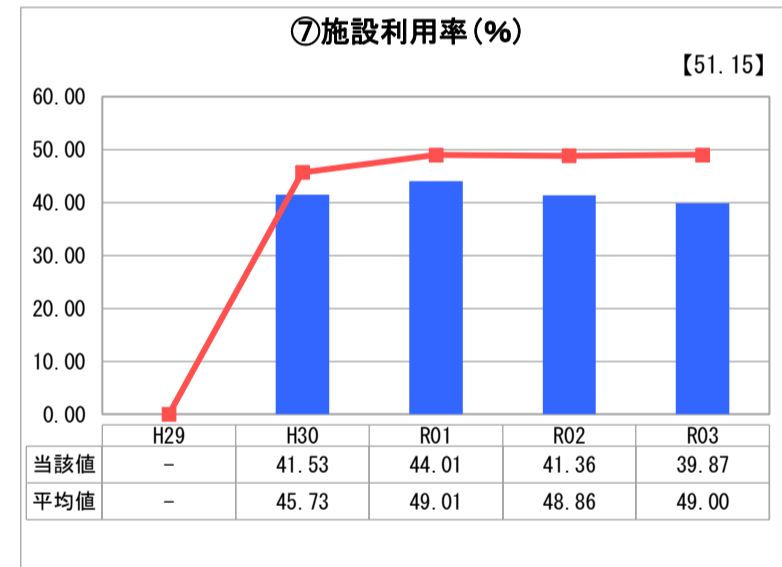
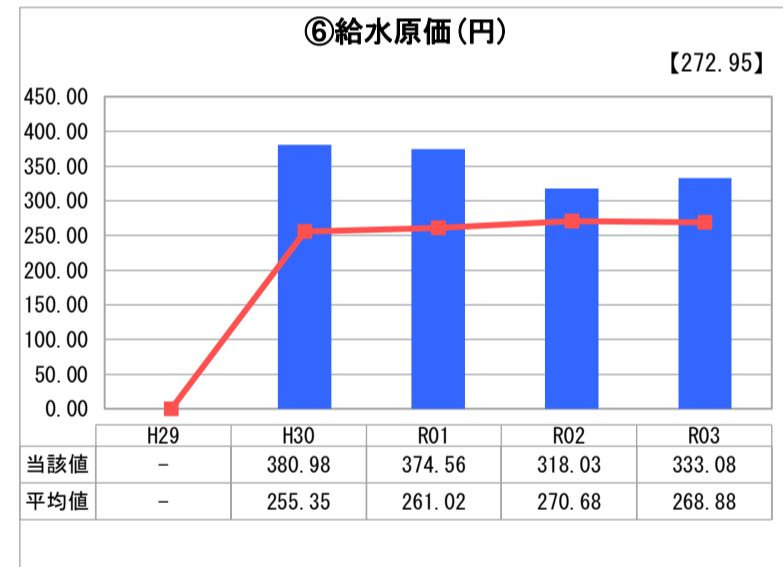
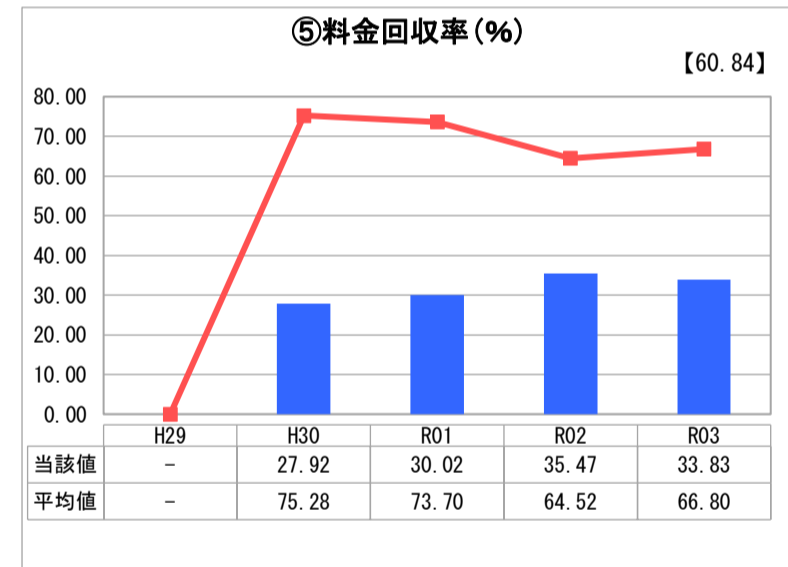
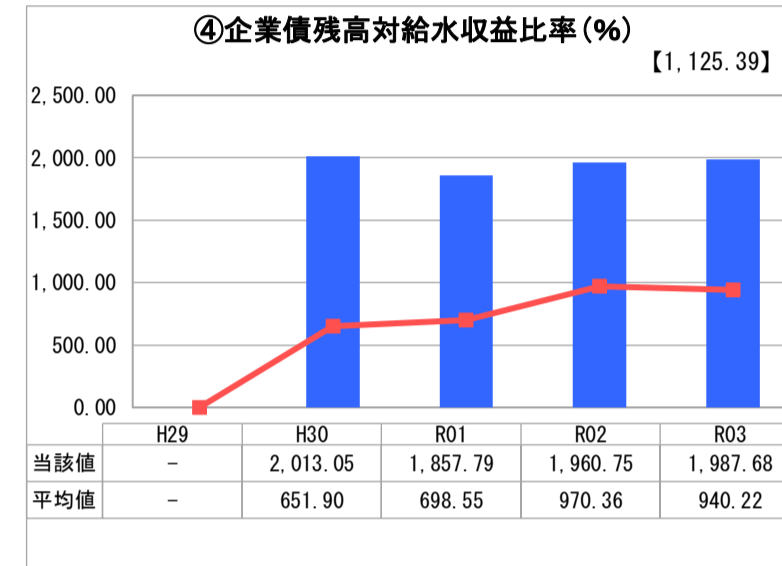
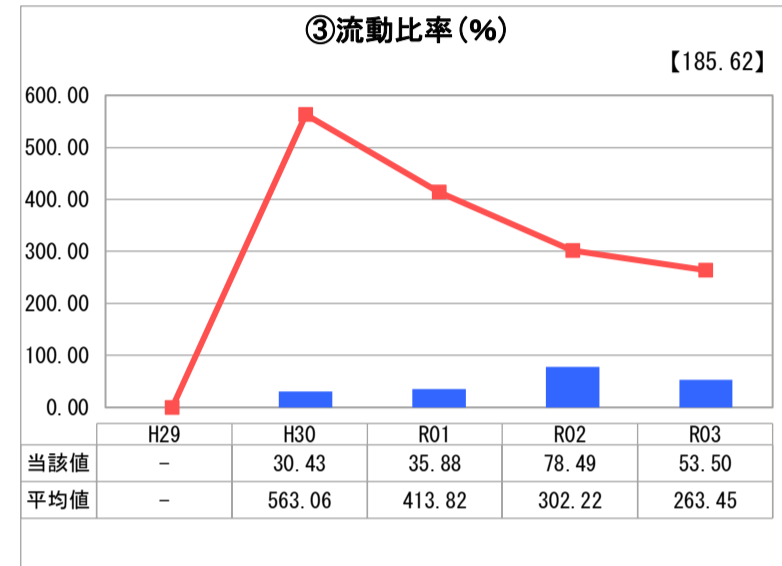
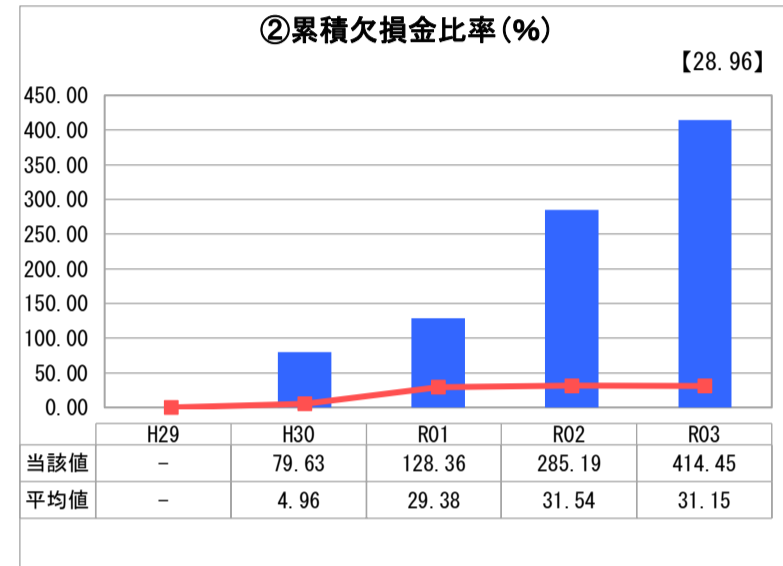
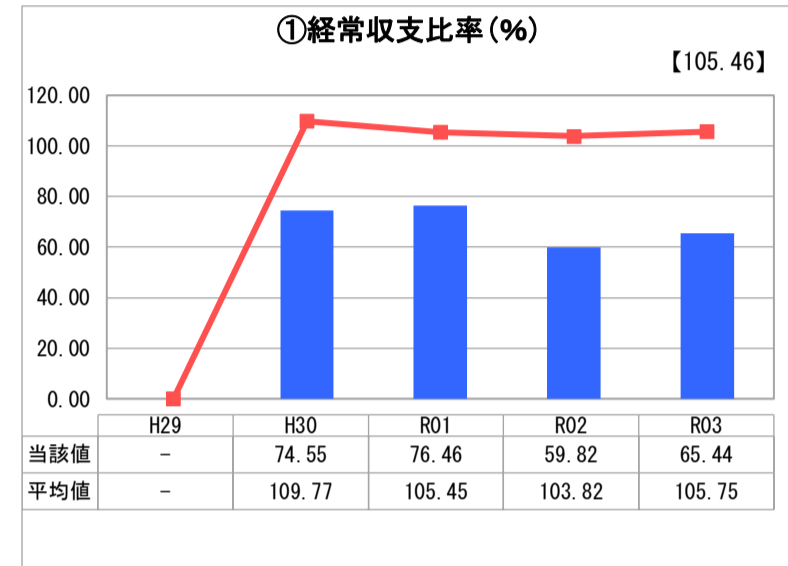
鳥取県 江府町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	45.20	99.02	2,035	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,685	124.52	21.56
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,622	11.12	235.79

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

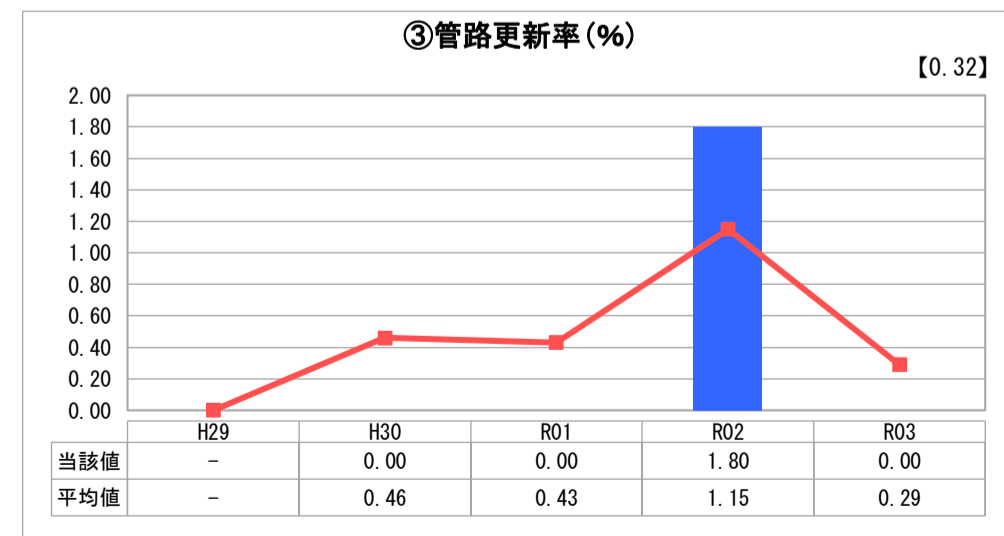
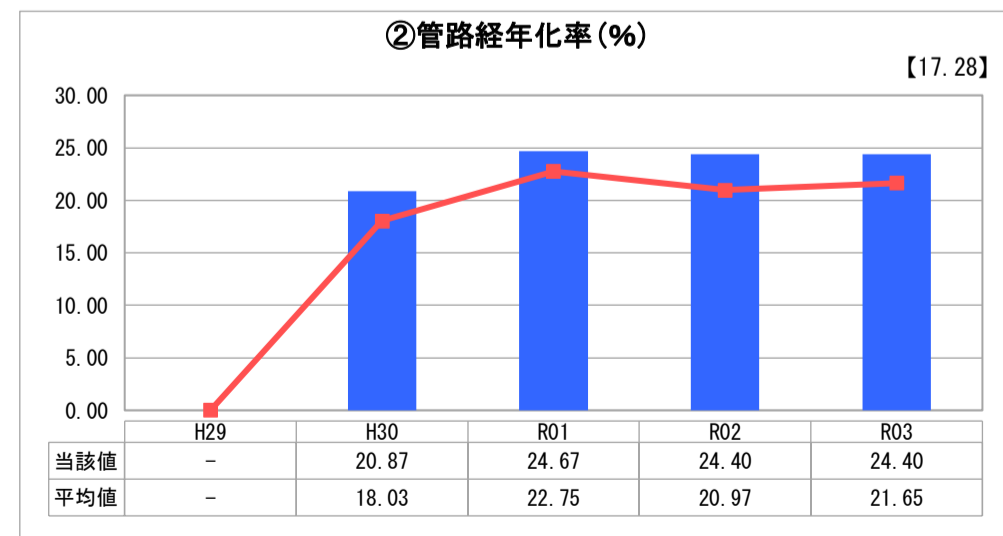
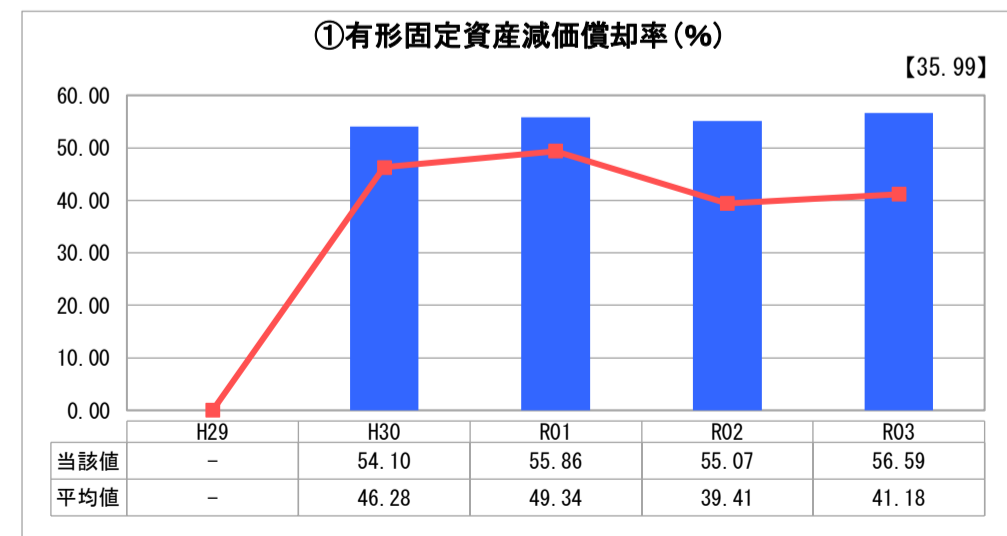
1. 経営の健全性・効率性について

- ・ 経常収支比率
収入については、給水収益以外に一般会計からの繰入金等に依存している状態です。経常費用のうち6割が減価償却費が占めており負担が大きくなっている。人口減少が顕著であり、給水料金の適正化を含めた一層の経営改善が必要と考える。
- ・ 累積欠損金比率
単年度で比較すれば、前年度からは16%欠損額は減少しているものの、累積欠損金は増加している。維持管理経費が増加する中、計画的な維持修繕を行なうことで、施設の長寿命化を図る必要がある。
- ・ 流動比率
流動負債については、そのほとんどが企業債の償還である。償還にあたり一般会計からの繰入金等でまかなっているのが現状である。
- ・ 企業債残高
地形的に多くの施設を整備しており起債残高が大きくなっている。今後の整備については、起債残高が増加しないように留意し平準的に行なっていかなければならないと考える。
- ・ 料金回収率
現在、3割程度の回収率であり、また今後の人口減少により給水料金の減収が予想されることから、適切な料金収入の確保と給水原価の削減が必要と考える。
- ・ 給水原価
他団体と比較しても高い状況である。施設の統廃合を含め管理経費の削減を行なう必要がある。
- ・ 施設利用率
人口減少により給水量が減少していく中、統廃合を含めた施設規模の検討が必要であると考える。
- ・ 有収率
類似団体と比べ低い状況である。原因（漏水等）を特定し、その対策を講じる必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ・ 有形固定資産償却率・管路経年比率
償却率が50%以上で高くなりつつある。ストックマネジメント計画をもとに、令和4年度から、計画的に更新をしていく予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少が続く中、給水料金収入の増加は見込めない。よって、施設整備の長寿命化・統廃合など維持管理経費の更なる削減を行なう。また、料金改定については定期的に見直しを行ない適切な給水料金の確保をすることで経営改善を一層進めていかなければならない。